

環境シンポジウム 2023

趣旨

私たち一般社団法人プレハブ建築協会 | 住宅部会は、2021年10月、2050年カーボンニュートラルの実現を含む、新たな環境ビジョンを策定、住宅におけるZEHやZEH-Mの推進、工場における再エネの導入など、商品・モノづくりの両面から脱炭素の取り組みを加速しています。

一方、2022年12月には生物多様性条約第15回締約国会議が開催され、「昆明・モントリオール生物多様性枠組」を採択、世界中で生物多様性の保全・再生への動きが加速しています。また、国内においても、保護区面積の拡大や、都市緑化における民間の力の活用（OECM）についての議論が本格化しています。そうしたなか、自然や生物多様性の損失に歯止めをかけ回復軌道に乗せる、ネイチャー・ポジティブの考え方に注目が集まり、その実現に向けては、これまで取り組んできた個々の住宅地における緑化の推進にとどまらない、新たな取り組みが求められています。そこで、本シンポジウムでは、特別講演を通じて、ネイチャー・ポジティブの本質を理解するとともに、住宅産業の新たな価値創造の方向性を探るとともに、会員各社の幅広い先導事例を共有し、住宅市場における工業化住宅の魅力を再考します。

日時 2024年1月22日 月曜日 13:00～16:00 (受付12:30)

会場 出版クラブホール (東京都千代田区神田神保町1-32) ※神保町駅徒歩2分

開催形式 会場セミナー (後日配信あり ※期間限定)

特別講演

緑地の多面的価値評価と民間企業の活用事例

菊池 佐智子 公益財団法人都市緑化機構 企画調査部主任研究員

明治大学大学院農学研究科農学専攻修了(農学(博士))。国土技術政策総合研究所、東北大学、茨城大学、山梨県富士山科学研究所を経て、2016年より、(公益)都市緑化機構勤務。専門は、造園学・緑化学。外部委員として、埼玉県営公園指定管理者候補者選定委員会委員、都立公園等指定管理者評価委員会委員、都立公園等指定管理者選定委員会、千葉市新みどり水辺の基本計画策定委員を務める。現在は、SEGES(シージェス)事務局として、国内外の緑化事例の収集と民間企業による緑地の保全・創出、その利活用の支援を行っている。

【講演要旨】

法規制対応や社会・近隣対策として整備されてきた民間企業による緑地、緑化の取組は、単なる社会・環境への貢献から、社員の福利厚生、生産性向上、そして、身近な「ネイチャー・ポジティブ」活動に広がりつつある。本講演では、民間企業による緑地等の評価制度「SEGES」の概要と、制度活用による民間企業による緑地の活用の好事例を紹介する。

スケジュール

13:00～13:05	開会あいさつ	住宅部会 部会長代行 トヨタホーム 渡辺 和人	(5分)
13:05～14:15	特別講演「緑地の多面的価値評価と民間企業の活用事例」	(公財)都市緑化機構 菊池 佐智子 氏	(60分 +10分)
14:15～14:30	環境分科会からの報告	(住生活向上推進プラン(環境指標)2022年度実績ほか)	(15分)
14:30～14:40	(休憩)		(10分)
14:40～15:55	事例発表		(75分)
	積水ハウス	庭から始める都市の生物多様性の取り組み ～「5本の樹」計画～	ESG経営推進本部 環境推進部 八木 隆史 氏 (20分 +5分)
	パナソニック ホームズ	パナソニック ホームズがチャレンジする 『地方創生プラットフォーム創り』について ～事例紹介『UP DATE CITY ふくしま』の取組～	都市開発事業部 プロジェクト推進部 プロジェクト推進課 課長 熊谷 一義 氏 (20分 +5分)
	環境分科会 まちなみWG	まちなみWGの取り組み 『都市型住宅地のデザインメソッド』	環境分科会 まちなみWG 座長 堂城 直人 氏 (20分 +5分)
15:55～16:00	閉会あいさつ	プレハブ建築協会 専務理事 臼井 浩一	(5分)

主催：一般社団法人 プレハブ建築協会 住宅部会 環境分科会